

新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

東栄町国民健康保険 東栄病院

【地域医療構想を踏まえた役割】（P9）

愛知県地域医療構想で示されているように、医師不足等の原因により、東三河北部構想区域は入院患者自域依存率が低く、東三河南部構想区域に患者が流出している実態があります。そういった中、北設楽郡唯一の公立病院として、限られた経営資源をフルに活用し、山村地域における無医地区または無医地区に準ずる地区を対象とする巡回診療や北設楽郡内のへき地診療所への医師派遣等を通じて、域内住民の生命と健康を守るための医療提供拠点としての役割を今後も果たしていく必要があると考えます。

また、地域包括ケアシステムを構築するにあたっては、医療の在り方や介護事業所との連携体制等を議論していく過程で、東栄病院がその中核的な調整役を果たすものと想定しています。

【再編・ネットワーク化】（P9）

現在、北設楽郡内においては、東栄病院以外の病院は存在しておらず、診療所については、その半数以上が町村立の診療所で、東栄病院から医師を派遣していることから、病院の統合・再編を実施できる状況にはありません。

一方、救急患者等の対応については、医療従事者の不足等により東三河北部構想区域内の医療機関では対応ができない疾病があり、隣接する東三河南部医療圏の医療機関との連携基盤を更に強化し、救急医療体制の充実を検討していくことが不可欠であると考えます。

【数値目標について】

記載なし

